

■ストレスチェックの効果的な活用に向けて■

オンライン座談会 (R4年度 学校における働き方改革研修②)

ストレスチェックを効果的に活用するための
アプローチ方法



開催日:7月15日(金)11:00~11:30

令和4年7月6日
教職員課

ストレスチェックは、メンタルヘルス不調の未然防止(自己の気づき)と共に、各校の分析結果をよりよい職場環境づくりに役立てることを目的としています。

働き方改革を、労働安全衛生の視点を入れて進めているのは、全国的にみても非常に珍しく、枚方市のこれまでの取組は多方面から注目されています。「令和3年度業務改善推進校取組特集Vol.⑤」でもストレスチェックの実施と活用について紹介しています。
昨年度、ストレスチェック受検率が前年度比+38.6%となった津田南小学校(高比良教頭)から話題提供いただき、各校でのアプローチ方法について考えたいと思います!



令和4年7月15日に実施したオンライン座談会の参加者振り返りアンケートから、感想等を紹介しします。
今回の講座は、学校の労働安全衛生の意識の向上が、教職員、学校、そして子どもたちの笑顔につながるのと視点から、ストレスチェックの意義を再確認し、自校の現在地や他校の好事例を知るために行ったものです。

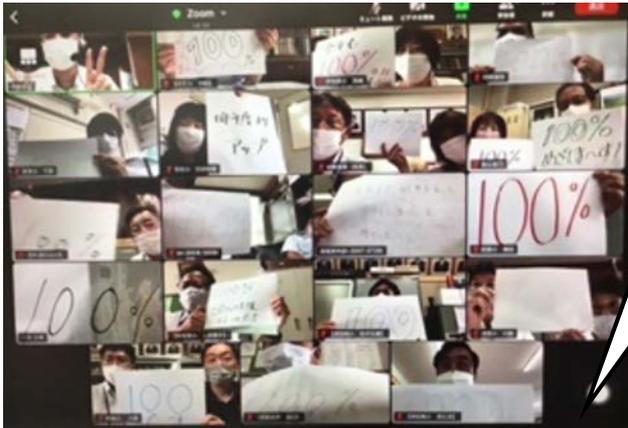
これまで：各個人で実施
現在：会議に合わせて一斉実施

- 正確な学校の現状をつかむためにはできるかぎりの実施者が必要
- なぜストレスチェックを実施するのか会議で説明

ストレス ストレスチェックを実施することが
ストレスにならないように。

←津田南小の好事例
(高比良教頭より)

- ・昨年度は推進校から得た情報を基に、自校でできる取組を進めた
- ・受検環境を整えること
- ・研修で働き方改革の意識を高めること
- ・ストレスチェックは教職員も子どもたちも安心できる職場・学校づくりの1つである



座談会の後、今回のストレスチェックの目標を掲げてもらいました。分析結果を生かすためには高受検率が必須です。

ブレイクアウトルームでの活発な交流↓



ストレスチェックに対する各校の現状、実施に向けた話の持っていき方、成功談や悩みなどを交流をしました。まずは「自校」ですが、市内の「仲間」とともに取り組み、市全体を盛り上げていきましょう。

ストレスチェック(前期)実施を前に、オンラインで30分というコンパクトな開催でしたが、25名の参加がありました。

ストレスチェックの好循環をつくろう!

参加者振り返りシートより

ストレスチェックの意味と意義を
しっかり教職員に伝達して行くべき
だと再認識した。

今年度の業務改善校の取組を通
して、本校で出
来る改善・課題
などを把握する
ことができた。

ストレスチェックの後のフィード
バックをするというのがとても大
切だと感じた。

ストレスチェックも
また、環境の整え方
で受検率は大幅に
変わる。何事も丁寧な
説明プラス管理職の
勢い（笑）が重要。

個別対応を丁寧
に行うことが
大切。

ストレスチェックを
受ける事が、自分の
ためだけでなく、家
族や周りの人のため
でもある事に気づい
た。

改めて、ストレス
チェック等、みんなが
きちんとやれることの
大切さを感じた。

津田南の報告の中
にあった「1年後、2年
後の学校像」。これを
どう描くかが大切。と
にかく走りながら描く
といのもありだし、必
要なこと。

ストレスチェックの提出率
を上げるために、校内研修
全体会の終わりに改めて周
知し、可能な限りそこで回
答してもらうよう校長と座
談会中に決定し、試行して
みることに。

各校、様々な工夫をして全教職員に実
施依頼をしているのを聞き、良い刺激
になった。今年は、10割をめざす。

他校の取り組みを聞き、改めて先生方にスト
レスチェックをどうやったら受けてもらえる
か考えるきっかけとなった。本日の打ち合
わせでクラスルームで課題として配布し、未
提出の方には声かけをしていこうと思う。

交流を通して、様々な取組を知ること
ができたことがよかった。自校で
は何ができるか、様々な引き出しを
持っておくことが大切。

集団分析結果の効果的な活用方法について知りたいこと

- 昨年度の山本先生の説明はとてもわかりやすく、職員にも説明しやすかった。ストレスチェックの分析方法の研修がどのような形でもいいので、毎年あると嬉しい。
- 結果だけを見ても、最初は、何をどう見れば良いかがわからなかったなので、その辺りの説明をつけて結果を送って頂けると有難い。
- 世代別の分析ができる面白いのでは。大変興味深い。
- 周知で終わらないように、どんな工夫を他校がしているかを知りたい。
- 見方を共有してほしい。
- モチベーションが低い教員に対してのアプローチの仕方は、どの情報を見ればよいか知りたい。
- SCやSSWと共有する機会が欲しい。
- 人・物・金を自由に増やすことができない学校でも、どのように環境を整えていくことができるか、知りたい。

令和3年度 業務改善推進校 取組特集Vol.⑤
「ストレスチェックの実施と活用」

集団分析結果の見方、結果が良かった学校の校長先生インタビュー等を掲載しています。参考に。



今後、オンライン座談会で知りたいこと

- 今年、情報教育推進ワーキングチームで、業務のICT活用が、本当によく話題になっている。業務改善にICT活用は切り離せない。研修課と教職員課のコラボとかできたら面白い。
- 教師になりたいと実習生や大学生が思う学校とは？
- ストレスチェックの結果が出てからの各校の取組の戦略等。
- 心理的安定性を高める環境づくり。
- 業務改善（働き方改革）に後ろ向きな人も少しはいるのでしょうか。もしあればその考えを聞いてみたい。
- 業務改善を進めるに当たって、苦労話や気をつけた方がいい点など。
- 業務改善と授業改善の両輪での改善について話してみたい。
- 同僚性の高め方、仕事量の負担軽減方法など。
- 他市交流。なぜなら業務改善は、教育界全体で考えるべきことだと思うので、交流したい。
- 働き方改革、業務改善と「時間」を意識して働くことはとても大切。同時に、様々な取組に対する「ていねいさ」も不可欠。時間とていねいさのバランス、各校で、教職員にどのように指導・支援しているのか。
- 学校と市教委、共に今後どうあったら、より良いのか話をしたい。